

## ボネコ 気化式加湿器

型式番号

# E2441-B/-W

(ブラック)

(ホワイト)

家庭用

## 取扱説明書



Made in SWITZERLAND

## 特長

### ■ 自然な加湿－気化式

お部屋（空気）の乾燥具合に応じて加湿を行いますので加湿しすぎることがありません。また、水をそのまま散布しないので、カルキなどで家具を傷める心配がありません。

### ■ 効果的な加湿システム

乾燥した空気を下から取り込み、加湿マットを通過させ、湿気を含んだ空気が上部より放出されます。上部から放出することで、効果的にお部屋を加湿します。

### ■ ユニークで簡単な給水方法

上部カバーを外さず、本体中心部にある給水口へ直接給水できます。満水の目安となる満水ラインが付いています。

### ■ お手入れが簡単

電気部以外のパーツは、取り外して水洗いができます。ホコリのたまりやすいファン部のお手入れも容易です。

### ■ 一日中（24時間）使用して約5～6円

消費電力は12W/50Hz、10W/60Hz。一日中使用しても電気代は約5～6円（「弱」運転は5W/50Hz、4W/60Hzで約2円）と、とても経済的です。（1kW/h=22円として算出した場合）

### ■ 約24畳のお部屋までOK

最大で約24畳のお部屋までご利用になれます。

### ■ 水中の雑菌抑制システム『Ag<sup>+</sup>』

水槽内にセットされたシルバースティックの銀イオンの作用により、水中の雑菌の繁殖を抑制します。また、放出される霧状の水分粒子は非常に小さいので、雑菌が水分粒子に取り込まれてお部屋に放出されることはありません。

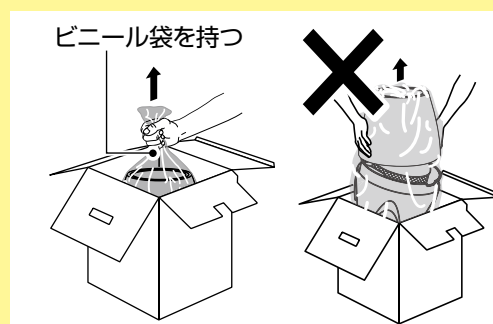
このたびは、ボネコ 気化式加湿器をお求めいただき、誠にありがとうございました。本製品を正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。お読みになった後は、保証書と共に大切に保管してください。

## もくじ

安全上のご注意	1～2
知っておいていただきたいこと	3～4
各部の名称とはたらき	5
使用手順	6～7
お手入れのしかた	8～9
故障かな？と思ったら	10
仕様	10
アフターサービスについて	裏表紙



箱から取り出すときは、製品上の発泡スチロールを取り外し、必ずビニール袋をしっかりとって取り出してください。本体上部だけ持って取り出そうとすると、本体下部が外れて落下します。



# 安全上のご注意

1. ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
2. ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への損害を未然に防止するものです。
3. 注意事項は、誤った取り扱いで生じることが想定される内容を、その危害や損害および切迫の度合いにより、「警告」と「注意」の2つに分け、明示しています。



## 警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



## 注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

4. 各注意事項には、「禁止」、または「強制」を促す絵表示が付いています。

この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



禁止



分解禁止



水ぬれ禁止



ぬれ手禁止



風呂・シャワー室での使用禁止



指示を守る



電源プラグを抜く



## 警告

### 電源／コンセントについて



電源は交流100V (50/60Hz)で「15A 125V」と記されているコンセントからとる

15A 125V



取り付けの悪いコンセントは絶対に使わない  
取り付けの悪い(ガタツキのある)コンセントや差込み口(刃受)のゆるいコンセントは、絶対に使用しないでください。感電や発熱の恐れがあります。



### 電源プラグ／電源コードについて



変形・破損している電源プラグ／電源コードは絶対に使わない

感電やショート、発火する恐れがあります。必ず、お求めの販売店または弊社サービスセンター(裏表紙参照)に、交換を依頼してください。



電源プラグ／電源コードが異常発熱している場合は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

運転中に電源プラグ／電源コードが異常に熱くなる場合は直ちに電源を切り(＝運転中止)、お求めの販売店または弊社サービスセンター(裏表紙参照)にご相談ください。そのまま使用するとショートや発火する恐れがあります。



コンセントや配線器具の定格容量を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない

たこ足配線などで、定格容量を超えると、発熱による火災の原因になります。



電源プラグは、根元までしっかりと差し込む

不完全な接続は、感電や発熱による火災の原因になります。

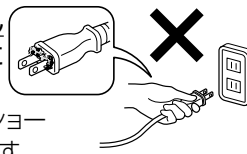


ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない  
感電する恐れがあります。



電源プラグやコンセントに付着しているホコリやゴミは、定期的に取り除く

ホコリやゴミが湿気を帯びると、ショートや漏電、発火などの原因になります。



動作中に電源プラグを抜き差ししない

運転中に電源プラグの抜き差しをしないでください。感電・火災の原因になります。



運転の際は電源コードを解き、余っても束ねない

熱の逃げ場がなくなって高温になり、発火する恐れがあります。



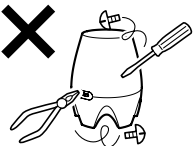
電源プラグ／電源コードを破損するようなことはしない

電源プラグ／電源コードは、大切に扱ってください。無理に曲げたり、物を載せたり、束ねたり、傷をつけないでください。傷んだまま使用すると、感電やショート、発火などの原因になります。

### 使用中／使用後について



本製品を分解したり、改造をしない  
故障や発火の恐れがあります。



お子様だけでは使わせない。  
幼児の手の届くところで使わない  
感電・ケガの原因になります。



### 運転中について



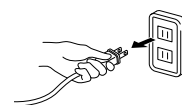
異常が生じた場合は、使用を中止する

万一、異常が生じた場合は、直ちに電源を切り(＝運転中止)、電源プラグをコンセントから抜いてください。異常な状態で使い続けると、事故や故障につながります。必ず、お求めの販売店または弊社サービスセンター(裏表紙参照)までご連絡ください。

## お手入れについて



お手入れの前に電源プラグをコンセントから抜く  
感電・ケガの原因になります。



## ⚠ 注意

### 電源プラグ／電源コードについて



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、必ず電源プラグを持って抜く  
電源コードを無理に引っ張ると、破損する恐れがあります。



### 設置場所について



屋外や湿気の多い場所(部屋)、浴室、特殊な環境で使わない  
ショートや感電の恐れがあります。また、硫黄などの硫化  
ガスが発生する場所や塩害の恐れがある場所で使用しない  
てください。故障の原因となります。



平らで安定した場所に置いて使用する  
不安定な場所におくと、本製品が転倒し、けがや故障の  
原因になります。



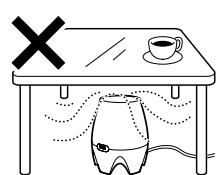
テレビ、ステレオ、電気カーペットなど電気  
製品の上で使用しない  
水がこぼれると故障や感電の危険があり  
ます。



就寝時に使用するとき、風が体に直接当たらない場所に置く  
身体が冷え過ぎて体調を損なう原因となります。



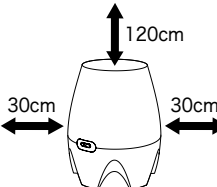
送風孔をふさがない  
テーブルや机の下に置くと送風孔  
をふさがれ、風(湿った空気)が部  
屋中に行き渡りません。



ストーブなどの暖房器と併用する  
場合は離して置く  
故障の原因になります。



家具などから離して設置する  
加湿器は、送風孔の上120cm以  
内、加湿器の周り30cm以内に家  
具やカーテンなどがいない場所に設  
置してください。



### 使用中／使用後について



本体が転倒、落下したときには、使用せず、点検を依頼する  
感電・ケガの恐れがあります。万一、本体が転倒・落下して  
しまった場合は、直ちに電源を切り(＝運転中止)、お求め  
の販売店または弊社サービスセンター(裏表紙参照)まで  
ご連絡ください。



小さなお子様が近くにいるときは、必ず付き添う  
運転中および運転していないときもお子様加湿器のそば  
にいるときは大人の方が付き添ってください。



長期間使用しない場合は、必ず電源プラグを抜く  
絶縁劣化による感電・漏電・火災を防ぐために抜いてくだ  
さい。



本製品を、他の用途や屋外で使用しない  
この製品は、室内用の加湿器です。他の目的や屋外で使  
用すると、ケガや故障の原因となります。



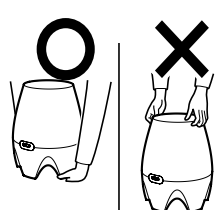
空気吸い込み口に指やピン・針金などを差し込まない  
ケガをする恐れがあります。



本製品に腰掛けたり、物を乗せない  
ケガや故障の原因となります。



持ち運ぶときは、本体の底を持つ  
上部カバーを持つと水槽が落下  
し、故障の原因となります。



水槽には水道水を入れる  
断水のあとや給水管の老朽化によ  
る赤水、または井戸水などを使用す  
ると、故障の原因となります。

### 運転中について

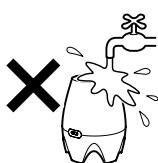


本体に水やジュースをこぼさない  
万一、こぼしてしまった場合は、ショートや感電などの恐れがありますので、直ちに電源を切り、運転を中止します。その後、お求  
めの販売店または弊社サービスセンター(裏表紙参照)までご連絡ください。

### お手入れについて



電気部(本体下部)、電源コード、電源  
プラグを水につけたり、水洗いしない  
故障や感電の原因になります。



クレンザーやシンナー、金たわしなど  
は使わない



塩素系、酸性およびアルカリ性洗剤は  
使用しない



一週間以上使用しない場合は、必ず水槽の水を捨てる  
水が入ったまま放置しておくと、異臭の原因となります。



シルバースティックの変色部分を紙ヤスリや金ブラシでこ  
すらない  
抗菌効果が損なわれる原因となります。



お手入れ後は、各部品をよく乾かしてから取り付ける  
各部品が乾いていない状態で組み立てると、故障の原因  
になります。

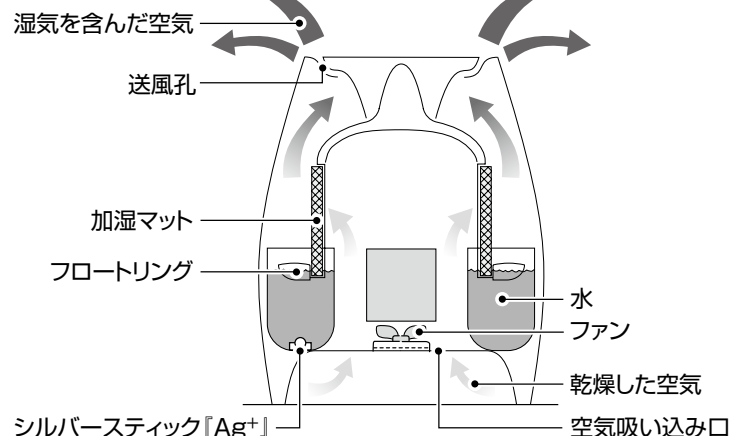
# 知っておいていただきたいこと

加湿の仕組みと主な特長をご理解いただき、本製品をより効果的にご使用ください。

## 加湿は“気化式”です

「湯気」や「霧」を強制的に発生させるものではなく、お部屋（空気）の乾燥具合に応じて自然に加湿する＝気化原理に基づいた“気化式”の加湿器です。電源スイッチを入れるとファンが回転し、室内の乾いた空気を吸い込みます。その乾いた空気は、水槽の水を吸い上げた加湿マットを通過することで湿気を含んだ空気となり、送風孔から放出されます。このとき、蒸気とは異なり、加湿状態は目には見えません。

### 【断面図】



## 電気製品や家具を傷めません

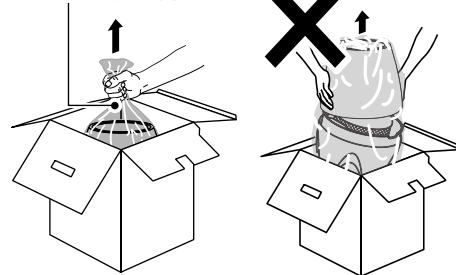
本機は気化式なので、水道水に含まれるカルキ分などを放出せず、テレビ/パソコンの液晶画面や家具などを傷める心配がありません。

### ⚠ 注意

#### 本製品を箱から取り出すときはビニール袋を持ってください

箱から取り出すときは、製品上の発泡スチロールを取り外し、必ずビニール袋をしっかりと持ちて取り出してください。本体上部だけを持って取り出そうとすると、上部カバーや水槽が外れてしまいます。

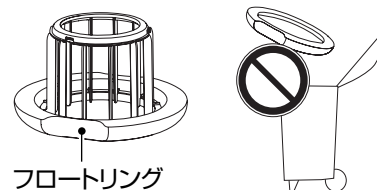
ビニール袋を持つ



### ⚠ 注意

#### フロートリングを捨てないでください

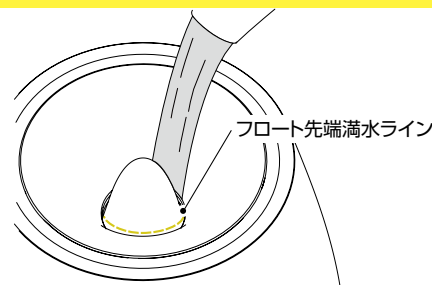
加湿ユニットの底に取り付けられているフロートリングは、梱包用の緩衝材ではありません。取り外して捨てないでください。



### ⚠ 注意

#### 水槽の容量以上の注水をしないでください

水槽から水があふれて、故障や感電の原因になります。フロート先端の満水ラインが見えたら、すぐに注水を止めてください。



### ⚠ 注意

#### 就寝時のご使用について

送風孔から出る湿気を含んだ風は、気化作用のために室温より多少低くなります。寝室で使用する際は、風が体に直接当たらないように離してください。※ファンの音が気になる場合は、足元の方に離して置いてください。



# 知っておいていただきたいこと（続き）

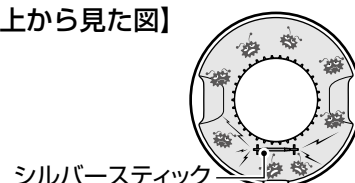
## 水中の雑菌を抑制するシステムを採用しています『Ag<sup>+</sup>』

水槽にシルバースティックを設置し、銀イオンの作用で水中の雑菌の繁殖を抑制します。

### シルバースティックの抗菌性能試験結果（財団法人 北里環境科学センター調べ）

試験菌名	抗菌効率
レジオネラ菌	99.5%
インフルエンザウィルス	99.6%

【水槽を上から見た図】



## 気化原理を利用した低消費電力設計です

水を気化するには“気化原理”を利用しますので、必要なエネルギー（消費電力）は、送風用モーター（定格：12W/50Hz、10W/60Hz）だけです。従来のスチーム式加湿器（消費電力250～350W）と比較すると約1/20以下の電力です。

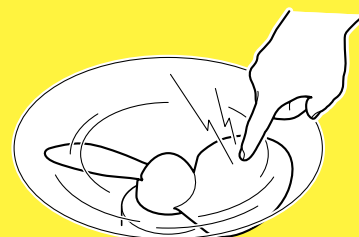
## やけどの心配がない設計です

スチーム式加湿器のように熱い蒸気が発生しませんので、やけどの心配がありません。また、本体に空気を吸い込むためのファン（羽根）は、水槽を外さない限り触ることができません。

### ⚠ 注意

#### 回転中のファンに触らないでください

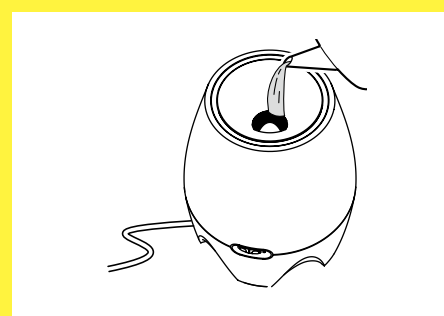
運転中、水槽のすき間に指やピン・針金などの長いものを差し込まないでください。ファンはプラスチック製ですが、触れてけがをすることがあります。また、無理にファンの回転を止めると、モーター軸のずれや、モーターの過熱原因になります。また、運転中に水槽を下部カバーから取り外すと電源は切れますが、ファンはしばらく回り続けますのでご注意ください。



### ⚠ 注意

#### 水槽に水が入っているか確認してください

知らずに運転を続けても、事故や故障の原因にはなりません。送風だけの運転は、加湿の効果がありません。運転中は、ときどき水位をチェックして、水槽に給水してください。



### 別売品のお求めについて

本製品購入販売店、または弊社サービスセンター（裏表紙参照）にてお求めください。

#### ●シルバースティック

シルバースティックの寿命は5～6年（目安）です。汚れなどが気になる方は、新しいものと交換してください。

型番 PL-SMSN

価格 3,360円（税込み・送料別途）

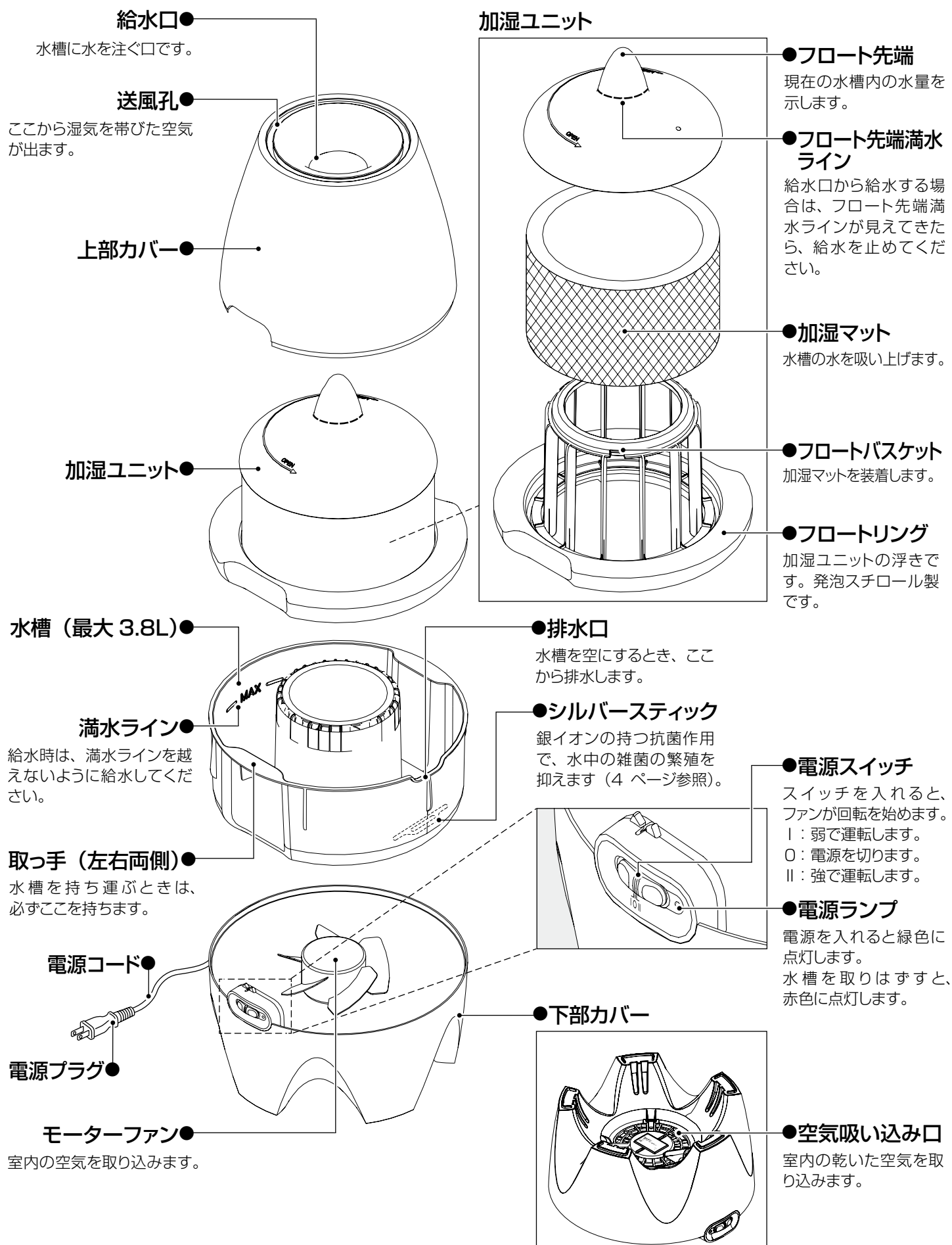
#### ●ボネコ気化式加湿器E2441用 加湿マット

型番 E2441-FIL

価格 1枚：1,890円（税込み・送料別途）

必ず純正品をご使用ください。指定以外のものは、性能／品質を保証できませんので、使用しないでください。

# 各部の名称とはたらき



## 1 水槽に水を入れる

A、Bの2通りの方法で給水できます。

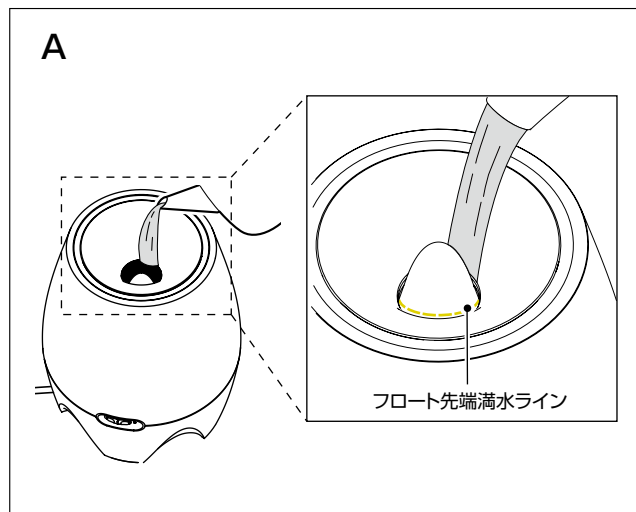
※給水前に、必ずシルバースティックが設置されていることを確認してください。

### A:給水口から注水する

本体上部の給水口に、フロート先端の満水ラインが見えるまで注水します。

水槽に3.8Lの水が注水されると、フロート先端の満水ラインが見えます。満水ラインが見えたら、注水をやめてください。

**ヒント** 乾いた加湿マットをご使用の場合(初回など)、注水時のシャワー効果でマット全体に速く水を行き渡らせることができるため、この方法をおすすめします。



### B:水槽を取り出し、給水する

#### ①上部カバーを取り外す

#### ②水槽を取り出す

加湿ユニットを取り付けたまま水槽を持ち上げてください。

#### ③水槽内側の満水ライン (MAX) まで水を入れる

加湿ユニットを取り付けたまま、給水してください。給水時に加湿マットが濡れ、加湿マット全体に速く水を行き渡らせることができます。

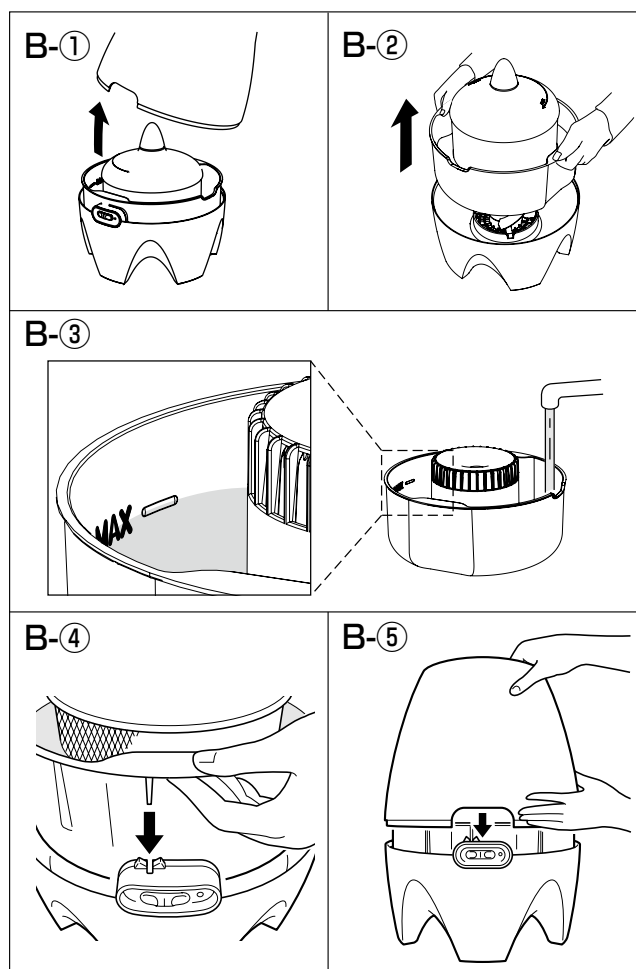
**ヒント** 加湿ユニットを取り外し、水槽に給水することもできます。その際は、加湿マットの水滴に注意し、新聞紙の上など水に濡れても良い場所に置いてください。

#### ④水槽を本体に取り付ける

取っ手とスイッチ部の位置を合わせて、正しく取り付けてください。

#### ⑤上部カバーを取り付ける

上部カバーとスイッチ部の位置を合わせて、正しく取り付けてください。



### ⚠ 注意

水や水槽に芳香剤(アロマオイル等)を直接混ぜたり、断水のあとや給水管の老朽化による赤水、または井戸水などは使わないでください。製品(材質)が変色/変質し、故障の原因になります。

# 使用手順（続き）

## 2 電源を入れ、加湿する

①プラグをコンセントにしっかり差し込む

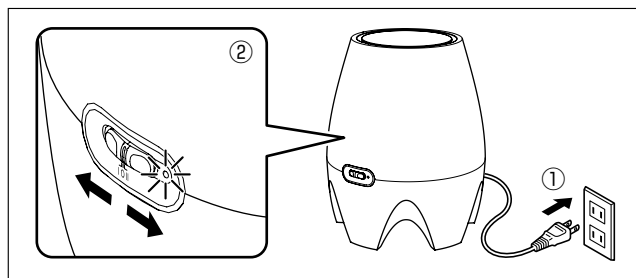
②電源を入れる

電源スイッチを「Ⅱ」（強）または「Ⅰ」（弱）にセットします。

スイッチ右横の電源ランプが緑色に点灯し、モーターファンが回転します。

Ⅱ（強）：送風孔からの風量が強くなります。

Ⅰ（弱）：送風孔からの風量が弱くなります。動作音が小さくなります。



### 使用中のファン／モーター音について

本製品の構造上、使用中にモーターの回転音やファンの風きり音がわずかに発生します。音に敏感な方や就寝時は、以下の方法をお試ください。

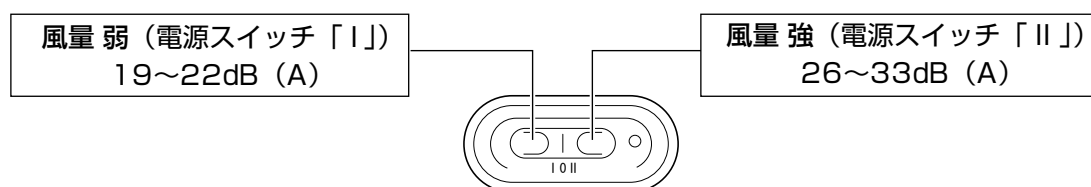
1. 使用／設置する場所をできるだけ頭の位置から離す。

2. 電源スイッチを「Ⅰ」（弱）にセットする。

また、ファン／モーター以外の音がするときは、各部の組み立てや取り付けが不完全な場合があります。「故障かな？と思ったら」（10ページ）をご覧ください。

### 気化式加湿器 E2441の騒音レベル試験（JQA 財団法人 日本品質保証機構調べ）

- 風量 弱（電源スイッチ「Ⅰ」）…19～22dB (A): 録音スタジオの静けさ
- 風量 強（電源スイッチ「Ⅱ」）…26～33dB (A): 木の葉の擦れ合う音



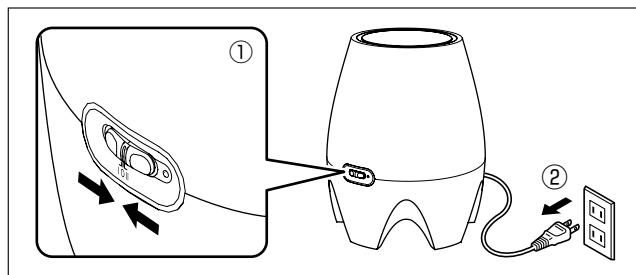
※データに関しては、デロンギ・ジャパン（株）までお問い合わせください。

## 3 停止する／電源を切る

①電源スイッチを切る

電源スイッチを0（切）に戻すと、電源ランプが消えて、ファンが止まります。

②プラグをコンセントから抜く



#### ⚠ 注意

一週間以上使用しない場合は、必ず水槽の水を捨て、次回は新しい水で加湿してください。



# お手入れのしかた

汚れ具合によりますが、1～2週間に1度、下記の要領でお手入れをしてください。また、シーズンオフには、必ずお手入れをしてから保管してください。

## ⚠ 注意

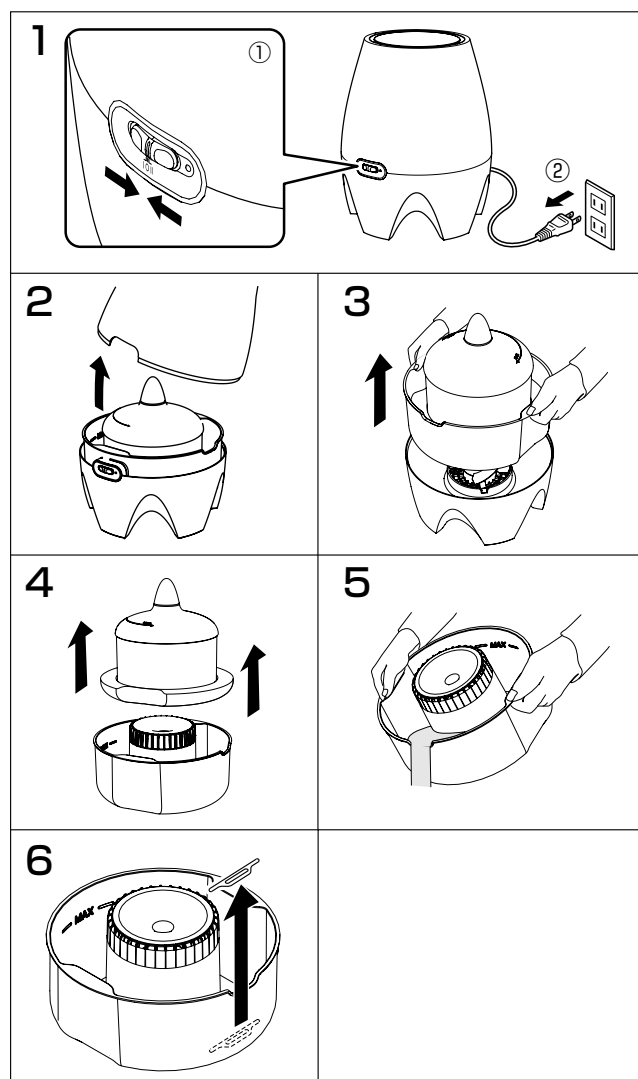
- プラグを必ずコンセントから抜いてください。
- 本体下部（モーターファン、電源スイッチ）および電源コード／プラグは、絶対に水に浸けないでください。
- クレンザー（研磨剤）やベンジン、シンナー、金たわしなどは、使用しないでください。
- 食器洗い機・乾燥機は、使用しないでください。

## 各部のお手入れをする前に水槽を空にする

### ⚠ 注意

お手入れをする場合は、必ず水槽を空にしてから行ってください。

- 1** 電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜く
- 2** 上部カバーを取り外す
- 3** 水槽を両手で静かに持ち上げ、取り外す  
このとき、モーターファンに衝撃を与えないように注意してください。
- 4** 水槽から加湿ユニットを取り外す  
このとき、加湿ユニットは水に濡れていますので、水滴に注意し、水に濡れても良い場所に置いてください。
- 5** 水槽に残っている水を捨てる
- 6** シルバースティックを水槽から取り外す



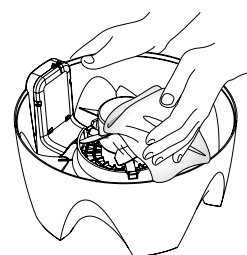
## 下部カバーおよびモーターファン、電源コード／プラグのお手入れ

水洗いできません

水洗いしないでください。ホコリなどの汚れは、乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れが落ちにくい場合は、布に少量のお湯を含ませ、固く絞ってから拭いてください。

### ⚠ 注意

モーターファンや電源スイッチなどに水をかけないでください。故障の原因になります。



# お手入れのしかた（続き）

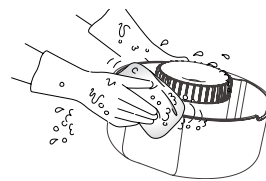
## 上部カバー・フロート先端・フロートバスケット・水槽のお手入れ

水洗いでできます

柔らかいスポンジと台所用中性洗剤を使って水洗いしてください。

### △ 注意

フロートリングをフロートバスケットから取り外すときは、取り扱いに十分ご注意ください。発泡スチロールが破損する恐れがあります。

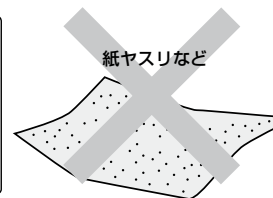


## シルバースティック『Ag<sup>+</sup>』

水洗いでできます

付着しているゴミやホコリなどは、水道水で洗い流してください。使っていくうちに銀の特性でメッシュ部分の銀が黒ずむ場合がありますが、性能に影響しません。なお、水槽のお手入れ前に、取り出してください。

※シルバースティックの寿命（有効期間）は、使用環境により異なりますが、5～6年（目安）です。期間を過ぎた場合は、弊社サービスセンター（裏表紙参照）まで、新しいシルバースティック（別売品：4ページ参照）をお求めください。



### △ 注意

変色部分を、紙ヤスリや金ブラシなどでこすり取らないでください。抗菌効果が損なわれる原因となります。

## 加湿マットの交換

加湿マットは、使用頻度、水中のカルキ分によって異なりますが、1シーズンを目安に新品と交換してください。加湿マットは使用していくうちに上部が黄色く着色しますが、これは水のミネラル分が残って付着したものですのでご安心ください。また加湿マットは、加湿器が取り込んだ空気中の汚れやタバコの煙が原因で変色することがあります。

### △ 注意

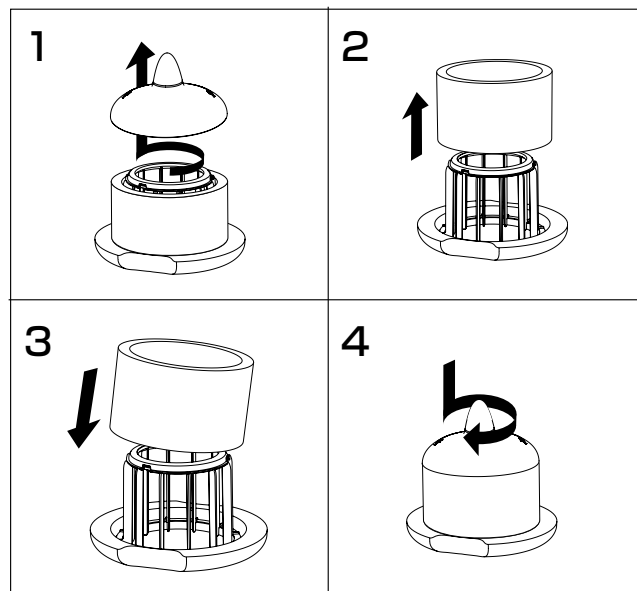
加湿マットを洗うことは、絶対にお止めください。加湿マットが破損する恐れがあります。

**1** 加湿ユニットから、フロート先端を取り外す  
フロートリングを動かないように手で固定して、フロート先端を反時計回りに回し、上に持ち上げます。

**2** 加湿マットを取り外す  
加湿マットの上部を少し外側へ広げ、静かに持ち上げ、取り外します。

**3** 新しい加湿マットを取り付ける  
加湿マットの下部を手で持ち、フロートバスケットの径に合わせ、フロートリングの底部までしっかりと取り付けてください。取り付けが不十分だと、加湿能力が低下します。

**4** フロート先端を取り付ける  
フロート先端を、加湿マットが取り付けられたフロートバスケットの上に置き、下に押しながらかlockwiseに回し、加湿ユニットに取り付けてください。  
フロート先端を軽く上に持ち上げて、加湿ユニット全体が持ち上がれば正しく装着されています。  
フロート先端のみが持ち上がる場合は、再度取り付け直してください。



## 保管する場合は…

お手入れ後、各部が完全に乾いて（不完全な場合は、カビなどが発生する可能性があります）から組み立て、製品の入っていた元箱に戻し（またはカバーなどをして）、乾燥した場所に保管してください。

# 故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、下記をもう一度チェックしてみてください。それでも異常があるときは、弊社サービスセンター（裏表紙参照）に修理をご依頼ください。ご自分での分解／修理／改造はおやめください。

状 態	考えられる原因	対処のしかた
1. 給水したときに、フロート先端の満水ラインが見えない	加湿ユニットが取り付けられていない	⇒ 電源スイッチを切り、上部カバーを取り外し、加湿ユニットが正しく取り付けられているか確認してください。
2. 水が減らない（加湿されない）	水槽の水が空になっている	⇒ 水槽に給水してください。
	お部屋の湿度が十分（目安：50%程度）で水分が気化しない	⇒ 本機は気化式のためお部屋の空気中に十分な水分がある場合には水は減りません。
	暖房器や換気などによる室内環境の変化（温度上昇と乾燥）に加湿が追いついていない	⇒ しばらく様子を見てください。水が減っていれば加湿しています。
3. 異臭がする	水槽の水が空になっている	⇒ 水槽に給水してください。
	加湿マットが汚れている、もしくは水槽のお手入れが不十分	⇒ 加湿マットを交換する、もしくは水槽のお手入れを行ってください(9ページ参照)。
4. 本体下部から水があふれている	水を入れすぎた	⇒ 水槽を空にして、本体を乾かしてください。
	水槽が取り付けられていない	⇒ 下部モーターユニットが濡れている恐れがあります。そのままお使いになると、故障や感電の原因になります。弊社サービスセンター（裏表紙参照）までご連絡ください。

## この製品は欧州RoHS指令に適合した製品です。

欧州RoHS指令とは、「電気・電子機器の特定有害物質の使用制限」を規定した欧州連合(EU)による指令です。この製品は、鉛及びその化合物、水銀及びその化合物、六価クロム化合物、カドミウム及びその化合物、ポリブロモビフェニル（PBB）、ポリブロモジフェニルエーテル（PBDE）の含有率が、いずれも含有率基準値以下であり、環境に配慮して製造されました。



## 仕様

製品名称／型式番号		ボネコ 気化式加湿器／E2441-B（ブラック）/-W（ホワイト）
定格	電 圧／周 波 数	交流100V／50/60Hz
	消 費 電 力	「強」運転時：12W/10W（50Hz/60Hz） 「弱」運転時：5W/4W（50Hz/60Hz）
適 用 量 数		～約24畳
加 湿 能 力		約100～180mL/時
水 槽 容 量		3.8L
付 属 品		加湿マット×1（装着済み）、シルバースティック×1（装着済み）
外 形 寸 法／質 量		幅320×奥行320×高さ400mm／4.0kg

- www.delonghi.co.jp イタリアのライフスタイル情報満載! 会員登録でプレゼントのチャンスも!